

第4章 教育ビジョン基本計画Ⅱ期の取組状況

◆ 各事業の取組実績と課題

平成 29(2017)年度から令和 3(2021)年度までを計画期間とした教育ビジョン基本計画Ⅱ期において、施策展開を図ってきた各事業の主な実績と課題をまとめました。

基本目標 1 生きる力を育む教育の充実

《基本施策 1 学力の充実と向上》

事業名	取組の主な実績	課題
1 教員の指導力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶モデル校で行った授業改善を研修会等で各学校に水平展開 ▶計画的に各校を訪問し、指導・助言を実施 	教員の 2 極化に伴う若手教員の人材育成
2 英語教育の拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ALT の派遣回数を増やし、教員等の研修の充実で、小学校の教科化等に対応 ▶英検 3 級取得率の増加 	教員の指導力向上のための研修会の充実
3 海外体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶友好都市グランドフォークス市への派遣と受入を隔年実施 ▶帰国後、参加者の各中学校での報告及びボランティア活動への参加 	令和 3 年度はコロナ禍のため派遣中止、中止の場合代替案検討
4 公立学校非常勤講師の配置	<ul style="list-style-type: none"> ▶各校の実情に応じた非常勤講師の配置、勤務状況の把握 ▶H29 から 62 名に増員 	人材確保への対応
5 ICT を活用した学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ICT 活用アドバイザー等による学校訪問、教職員研修会実施 ▶ICT 活用サイトを立ち上げ、各校の取組紹介等情報提供を実施 	教員の ICT 指導力の向上及び ICT 活用に伴う健康面への配慮
6 学校図書館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶学校図書館支援員配置 ▶学校図書館利用の工夫 	コロナ感染症対策の実施
7 子どもの読書活動の推進 (再掲)	(基本目標 4 - 基本施策 4 に記載)	
8 小中学校の適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ▶西大芦・久我小学校において統合に向けた調整実施 ▶学校・保護者・地域住民との適正配置についての意見交換会実施 	地域住民や保護者への丁寧な説明や意見交換の場の確保
9 要保護・準要保護生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶認定者に対し、就学に必要な経費(学用品費他の費用等)を援助 ▶H29 年度から入学準備金を認定児童・生徒に対し入学前に支給 	学籍管理・就学援助管理システムにより校務支援システムでの学籍関連情報連携や所得照会のシステム化

10	特別支援教育の就学支援	▶認定者に対し、就学に必要な経費（学用品費他の費用等）を援助	校務支援システムにおける学籍関連情報連携や所得照会のシステム化
11	スクールバスの運行	▶統合で遠距離通学となった児童生徒の負担軽減のためスクールバスを運行 ▶西小・西中、栗野小・栗野中、加園小で運行	適正配置の検討に合わせたリーバス・路線バス・デマンドバス等公共交通機関の利用の検討
12	鹿沼市奨学金貸付事業	▶例年新規約 50 名、全体で約 160 名に貸付実施 ▶対象学校の拡大	更なる利便性の向上、返済滞納額の削減

《基本施策2 創意工夫を生かした学校づくり》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	特色ある学校づくり	▶全小中学校において、地域の教育資源を活用し地域に根ざした「特色ある学校づくり」を支援、推進	地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）への移行
2	環境教育の推進	▶エコライフフェアへの参加（R2・3年度はコロナのため中止）	各学校での実践と市としての事業削減
3	開かれた学校運営の推進	▶小中学校に学校評議員を配置し、意見交換を通し、地域や家庭が参画した学校運営を推進 ▶小中学校で、年間 2～3 回程度の学校評議員会議を開催	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）への移行
4	コミュニティ・スクールの導入検討	▶平成 29 年度より導入検討を開始 ▶令和元年度 3 校、令和 3 年度 2 校の計 5 校に導入	令和 5 年度までに全校導入を目指す。各学校への支援の他、保護者や地域住民への周知・啓発
5	郷土理解学習の推進	▶全小学校へ配布、活用率 100% ▶毎年内容を検討し更新	副読本の活用 100%、副読本の内容検討を教育研究所事業に編入
6	郷土愛を育む授業支援の推進（再掲）	（基本目標 4－基本施策 3 に記載）	

《基本施策3 豊かな心と健やかな体の育成》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	教育相談の充実	▶相談者ニーズに沿った相談を実施 延べ相談件数 2531 件(R2)	相談者ニーズ（相談希望日時など）に合わせた対応及び福祉部局との連携
2	不登校対策ネットワークの利活用	▶不登校対策ネットワーク会議を開催し、事例検討を実施 ▶保護者、児童生徒、教職員に対して不登校支援について相談を実施	不登校出現率を下げるため、未然防止や早期発見、初期対応の徹底及び教育に関わる分野との連携

3	適応指導の支援	▶不登校(傾向)児童生徒への支援 R2年度13名	様々なニーズに対応するための活動費や個別で支援を必要とする通室生の増加に伴う人員確保
4	道徳教育の充実	▶授業力向上を目指したモデル校による研究 ▶教科化に対応するため、学校訪問での研修会実施	道徳教育の理解や研究の充実、指導方法の工夫・改善、更なる豊かな心の育成の充実
5	いじめ防止対策の充実	▶いじめの積極的認知の奨励 ▶解決に向けて学校との連携 ▶いじめ問題対策連絡協議会の開催	SNS上のトラブルや学校における防止・対応が困難な事案が増加
6	情報モラル教育の推進	▶情報モラル教室の実施校の増加 ▶情報モラルに関する指導資料等の周知	学校・家庭での適切な利用を児童生徒自ら考え、行動できる教育の推進
7	わくわくネーチャー事業の推進	▶「森の教室」実施 ▶「かぬまっ子わくわくキャンプ」開催	コロナ禍による活動の制限への対応とニーズに合わせた事業内容の精査
8	児童生徒の体力向上の推進	▶体力向上を目指したモデル校研究 ▶体力向上指導者研修会の開催 ▶全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析及び課題改善に向けた計画	体力向上に向けた実践が困難
9	学校保健の充実	▶児童生徒及び教職員の健康診断や検診を計画的に実施 ▶各校において「学校保健委員会」や「地域保健委員会」を開催	児童生徒の健康課題に対する学校・家庭・地域が連携した推進体制の構築
10	学校における食育の推進	▶栄養教諭・栄養職員による食に関する指導など食育推進を実施。 ▶給食を題材とした食育教室を開催 ▶食物アレルギー対応校内研修会の開催支援や、調整会議を開催	食を起因とした健康課題に対し、生涯健康に過ごすための必要な力の習得

《基本施策4 時代に即した教育課題への対応》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	教育研究事業の推進	▶学級集団アセスメント(Q-U)、全国学力学習状況調査結果分析・対応策の検討、Q-U研修会、MIM実践研究集会、「学級活動リーフレット」等を作成	多岐にわたる教育研究事業の内容を随時検討
2	教員の指導力向上事業(再掲)	(基本目標1－基本施策1に記載)	
3	幼小連携推進事業	▶幼保小合同の研修会実施 ▶スタートカリキュラム作成	学校全体へのスタートカリキュラムの理解の浸透

4	国際理解教育の推進	▶各校において、各教科の学習を通じた国際理解教育の実施 ▶イングリッシュキャンプによる異文化理解体験活動の実施	異文化理解を深める代替案の検討
5	外国人児童生徒支援	▶拠点校を設置 ▶市国際交流協会と連携した支援、外国人児童生徒教育研修会の実施	拠点校に在籍していない児童生徒の送迎システムの確立
6	防災教育の推進	▶防災教育プログラムによる避難訓練の推奨	事故・犯罪・自然災害等から、自分の身を守る能力の伸長
7	自然生活体験学習の推進	▶市内小学校4年生及び中学校1年生全員の自然生活体験学習の受入	本事業と「わくわくネイチャー事業」との役割分担及び計画の整理
8	平和に関する教育の推進	▶総合政策課主管事業（連携） ▶広島平和記念式典へ中学生が参加	総合政策課との連携
9	人権教育の推進	▶人権教育講演会の実施 ▶人権教育主任の研修会実施 ▶人権教育推進委員による「なかま」「仲間」の充実	全職員の共通理解と教育活動全体で意識の高揚
10	南部地区会館事業の推進	▶人権教育指導者専門講座の実施 ▶ウエルフェア in かぬま&福祉と人権の集いの実施	令和3年度より人権推進課に移管

《基本施策5 個に応じた特別支援教育の推進》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	インクルーシブ教育システムの構築	▶こどもサポートセンターや発達支援センターと連携構築 ▶ニーズに応じた合理的配慮のための研修会を実施	インクルーシブ教育システムの構築と教育活動全体での展開
2	特別支援教育のサポート体制の充実	▶相談員が学校への巡回訪問し、適切な助言 ▶医療・福祉・特別支援学校との連携強化	こども総合サポートセンターの事業との重複箇所の精査
3	特別支援教育の就学支援（再掲）	（基本目標1－基本施策1に記載）	
4	公立学校非常勤講師の配置（再掲）	（基本目標1－基本施策1に記載）	

基本目標2 未来へつなぐ教育環境の整備・充実

《基本施策1 教育施設の充実》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	小中学校の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶全校の普通教室へのエアコン設置が完了 ▶北中、さつきが丘小の外構雨水対策工事を実施 ▶東中のプール改修工事を実施 	計画的な特別教室エアコン整備
2	小中学校の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ▶北小の木造校舎耐震改修が完了 ▶屋体（吊バス）の耐震化工事（8校）及び撤去工事（13校）が完了 	非構造部材の耐震化、竜巻対策
3	小中学校の長寿命化整備	▶北中校舎外装改修、屋内運動場改修、トイレ洋式化・給排水設備改修を実施	長寿命化改修における学校との調整と代替え措置の検討
4	学校防犯設備等の整備	▶門扉（4校）、フェンス（2校）等を設置	未確定敷地境界等による門扉、フェンスの設置
5	より良い教育環境の整備	▶老朽化した机椅子や牛乳保冷庫、カーテン等学校備品の整備実施	老朽化した大型学校備品の計画的な整備
6	文化の杜（市民文化センター）の活用推進（再掲）	（基本目標4－基本施策2に記載）	
7	市民情報センター及び文化活動交流館改修（再掲）	（基本目標4－基本施策1に記載）	
8	快適で親しまれる図書館の整備（再掲）	（基本目標4－基本施策4に記載）	
9	川上澄生美術館整備事業（再掲）	（基本目標4－基本施策2に記載）	
10	スポーツ施設の総合管理（再掲）	（基本目標5－基本施策1に記載）	

《基本施策2 ICTの推進》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	教育のICT環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶児童生徒一人一台のタブレット端末の導入 ▶全小中学校内に高速通信のWi-Fi環境を整備 ▶全普通教室に大型モニターを導入 	適切な時期のICT機器やシステムの更新、ICT支援員の強化
2	ICTを活用した学びの推進（再掲）	（基本目標1－基本施策1に記載）	
3	情報モラル教育の推進（再掲）	（基本目標1－基本施策3に記載）	

《基本施策3 学校給食の充実》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	安全安心な学校給食運営	▶センター方式2か所、親子方式5か所、単独実施校5か所の給食調理施設で、毎日約8,000食の学校給食を提供	安全安心な給食を安定的に提供するための計画的な設備改修や給食業務全体の効率化

基本目標3 地域で育む教育の推進

《基本施策1 家庭・地域における教育の推進》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	家庭教育の支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶各小中学校及び民間学級における家庭教育学級の実施 ▶家庭のあり方や子育てに関する講演会の実施 ▶家庭教育支援チームの活動支援 	コロナ禍における開催方法の検討や、コミュニティ・スクール導入に伴う事業内容の見直し
2	学校・家庭・地域の連携協力推進事業「地域未来塾」	<ul style="list-style-type: none"> ▶市内中学生を対象に、夏休み期間中、数学と英語の学習支援を実施 ▶H30は8回実施で延べ408名参加 	H30で事業終了(代替事業を厚生課で実施)
3	学校支援ボランティア活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶学校支援ボランティア活動研修会の実施 ▶ボランティアだよりの作成・配布により活動の周知・啓発の実施 	コーディネーター未配置の学校におけるボランティア活動のより一層の充実

《基本施策2 安全安心な学校づくり》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	学校における防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶危機管理マニュアル改訂の徹底 ▶浸水想定・土砂災害警戒区域内の学校避難計画の立案 	自然災害に対し、各学校の実状に即した対応の見直し等
2	防災教育の推進(再掲)	(基本目標1－基本施策4に記載)	
3	学校防犯設備等の整備(再掲)	(基本目標2－基本施策1に記載)	
4	地域に開かれた安全安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ▶各地区対策委員会に支援金を交付し、連絡協議会と連携した活動を促進 ▶スクールガードリーダー・青色防犯パトロール・交通安全の立哨活動等の安全確保活動、子ども110番の家等環境整備活動実施 	各地区対策委員会の、効な活動の支援とスクールガードリーダーと学校・各関係機関との連携
5	地域で育む子どもの居場所事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶放課後、週末に子どもの学びの場を提供する放課後子ども教室の実施 ▶栗野地域の小学校で地域の協力による待機スペース事業の実施 	地域のニーズや国庫補助要件を見据えた今後の事業方針の検討
6	通学児童生徒の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ▶通学路危険箇所調査の実施 ▶通学路安全対策連絡会議及び合同点検の実施 	学校、家庭、地域、関係機関の連による児童生徒の安全確保

《基本施策3 青少年の健全育成》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	青少年育成団体の支援	▶各地区市民会議に、交付金を交付し、青少年健全育成活動を支援 ▶体験活動や異年齢間の交流活動等青少年育成団体と連携し実施	自主的な活動継続支援など各団体の活動の的確な支援と後継者育成の推進
2	青少年指導センターの活動推進	▶少年指導員と連携し、街頭指導や啓発活動を実施 ▶市内小・中・高校、警察署等関係機関との連携を密にし、活動を促進	青少年を取り巻く環境の変化を敏感にとらえた学校・地域・関係機関の連携と活動の充実
3	困難を有する若者の自立支援	▶青少年健全育成や社会環境浄化の立場からの支援を継続	こども総合サポートセンターとの連携、協力
4	若者の集いの場の整備 (青少年の活動拠点の充実)	▶音楽スタジオ「いちごミュージックスタジオ」の開設 ▶利用者の発表の場として市民文化祭「バンド部門」に参加	利用者ニーズに沿う活動の拡大
5	成人の日関連事業の推進	▶20歳関連事業を実行委員会へ委託し、企画・運営を支援 ▶「成人式」から「20祭」に名称を変更し、新たな祭典を開催	事業終了後も継続活動可能な人材を発掘し、自主性を醸成
6	青少年の自立支援	▶青少年団体の活動支援 ▶地域事業への参加をコーディネート	継続して活動できる人材の育成と自主性の醸成
7	青少年の主体的なまちづくりへの参画促進	▶高校の課題解決型授業を支援 ▶青少年が主体的にまちづくりへ参画できる環境を整備	青少年の社会参画に繋がる支援と関係機関との連携(結び役)の充実

基本目標4 市民が自ら取り組む学習や活動の促進

《基本施策1 生涯学習の推進》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	生涯活躍のまち鹿沼推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶「かぬま生涯学習大学」の運営及び講座の開設 ▶講座情報を集約した「生涯学習総合情報誌」の発行 ▶生涯学習の成果発表、啓発のため「かぬま学びフェスティバル」の開催 	コロナ禍における学びの手法の多様化の検討
2	生涯学習人材情報の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶「かぬままちづくり出前講座」の実施 ▶市民の講師による「まちかど先生出前講座」の実施 	より多くの市民利用に向けた積極的な情報発信
3	市民との協働事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶市民や地域団体との連携により、地域課題を意識した講座の実施 ▶親子が週末に学べる「親子体験学習」等の実施 ▶地元への興味や男性の積極的参加を目的に「地域デビュー講座」等の実施 	市民のニーズに沿った講座の開催
4	市民情報センター及び文化活動交流館改修	<ul style="list-style-type: none"> ▶空調設備等故障による修繕の実施 ▶火災報知設備等老朽化設備更新 	緊急性や優先的な改修に向けた計画的な予算化

《基本施策2 文化芸術の振興》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	文化芸術活動団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶文化協会や青少年音楽団体の支援 ▶文化協会HP設立など若い世代への情報発信 	高齢化、少子化による団体の会員減少に伴う後継者育成と新たな情報発信
2	文化芸術交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶若い世代の参加促進のため、市民文化祭にマンガやバンドを新設 ▶市民文化芸術交流の日制定、イベント実施による世代間交流 	文化芸術活動の継承に向けた若い世代の参加促進事業の継続・拡充
3	文化の杜(市民文化センター)の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶いちごミュージックスタジオ新設 ▶プラネタリウムの多目的利用促進 ▶屋上防水工事の完了など施設の改修・修繕工事の実施 	計画的な施設の長寿命化と魅力ある事業展開による利用者増加と満足度向上

4	川上澄生美術館整備事業	▶電気設備や館内設備修繕の実施 ▶空調設備改修により、展示室、収蔵庫環境の保全	文化活動交流館東収蔵庫の設備修繕と環境改善
5	収蔵品の充実と活用促進	▶購入・寄贈により、作品・資料を1,180点(H29~R2)収蔵 ▶県博物館協会から学芸活動の表彰など地元作家の調査推進	新収蔵作品の積極的な活用と来館者満足度の向上
6	川上澄生美術館事業の推進	▶川上澄生のほか地元作家を発掘する企画展を実施 ▶市民の木版画展、木版画大賞を隔年で開催	魅力ある企画展の実施と効果的なPRによる入館者の増加

《基本施策3 地域資源を生かした学習の推進》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	文化財指定の推進と保護	▶10件(H29~R2)を新たに指定 ▶所有者への保護支援を推進 ▶埋蔵文化財発掘調査、出土遺物整理の推進	調査・保護支援件数の増加に伴う優先順位をつけた調査・保護
2	地域資源の調査と保存	▶53家・団体(H29~R2)の調査・収集・整理を実施 ▶大型絵図等デジタル化推進 ▶公開資料の拡充	世代交代による資料散逸の防止と市庁舎移転による歴史的公文書の保存・活用
3	郷土愛を育む授業支援の推進	▶小中学校で出前講座や資料貸出による授業支援を実施(23校) ▶貸出教材リストの作成・配布 ▶郷土学習冊子の作成・配布	ニーズに合わせた授業形式の検討および社会科副読本の学習内容とのさらなる連携
4	ユネスコ無形文化遺産の継承	▶彫刻屋台や収蔵施設の修繕を支援し、彫刻屋台の保存 ▶全国保存団体との連携とPR促進	担い手不足の深刻化に伴う保存団体と連携した後継者育成
5	まるごと博物館事業の推進	▶文化財展示施設の管理運営 ▶市民協働による博物館事業を推進 ▶企画展の開催	中央館と各分館ネットワークの構築と事業を担う人材育成
6	地域文化資源を生かすまちづくりの推進	▶千葉県三記念館の運営を支援 ▶半田良平生誕130年記念事業実施 ▶北犬飼コミセンに半田良平の顕彰コーナーを開設	千葉県三記念館管理運営協議会の新規会員確保や半田良平顕彰コーナー活用等継続した取組み

《基本施策4 読書活動の推進》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶小・中学生を対象とした「読書通帳」の新規導入 ▶「YA図書」蔵書数の充実 ▶「赤ちゃんタイム」による子育て世代の利用と乳幼児期からの読書支援 	図書館と「学校図書館支援員」との連携・協働に向けた積極的な情報交換等の推進
2	読書普及事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶「雑誌スポンサー制度」の加入促進 ▶本によるまちづくり推進事業「小さな図書館」の参加店舗拡大 	図書館利用者の減少・読書離れからの回帰を図る魅力ある事業の展開
3	図書館資料管理と業務システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶図書館システムの更新 ▶コミセン等の貸出文庫の利用者増 	図書館システムの効果的な運用と突発的システムエラー発生時のフォローアップ体制
4	快適で親しまれる図書館の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶本館エントランスをくつろぎスペースとして整備 ▶Wi-Fi環境の整備 ▶感染症対策で除菌機・サーマルカメラを設置 ▶物販コーナーを新設 	緊急性や優先的な改修に向けた計画的な予算化

基本目標5 スポーツでつくる健康都市の推進

《基本施策1 地域スポーツの振興》

	事業名	取組の主な実績	課題
1	地域スポーツクラブ等の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域スポーツクラブ支援システムを活用し、2団体が新規クラブ化 ▶地域スポーツクラブ活動支援の講師派遣 	スタッフや採算性などの課題による全地域への普及の停滞とスポーツクラブ会員の高齢化や競技の固定化
2	各種スポーツイベント・大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ▶さつきマラソン大会や市駅伝競走大会、ふれあいウォーク等でスポーツに取組む機会の提供 ▶かぬま文化・スポーツ振興財団と連携し、平野早矢香杯やジュニアゴルフ大会等を開催して市内外からの参加者が増加 	コロナ禍の開催方法の検討
3	スポーツ交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶友好都市とスポーツ交流を実施した団体を支援 ▶韓国順天市のマラソン大会へ市民を派遣 	交流方法の検討
4	スポーツ団体やスポーツ指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ▶スポーツ少年団認定員養成講習会やジュニア・リーダースクール兼交歓会を実施し、指導者等を育成 ▶スポーツ活動の普及、活性化を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団活動を支援 	児童数減少に伴うスポーツ少年団数や団員数の減少
5	スポーツ施設の総合管理	<ul style="list-style-type: none"> ▶施設の長寿命化計画及びスポーツ施設整備計画により施設の整備、修繕並びに統廃合の実施 ▶いちご一会とちぎ国体に向けた施設の整備 	施設の計画的な長寿命化（改修）及び統廃合（適正管理）
6	学校施設の開放と活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶継続的な学校開放事業の実施 ▶利用可能施設の活用率 100%達成 	学校の統廃合に伴う利用施設の減少と利用者の高齢化に伴う活動休止